

まちなのにぎわい創出委員会事業計画

委員長 山崎 貴行
副委員長 石山 裕二
副委員長 松木 成徹
幹事 石田 宜之

<基本方針>

近年、まちなの人々の関心や価値観が画一化された郊外へと移り、長い歴史と文化に育まれてきた、昔からあるまちなの魅力や独自の特徴が失われつつあります。また、各地に点在するまちな独自の地域資源に対して価値観を改め、可能性を追求しながら地域力を高める事が求められていると考えます。その為にも、まちなにある独自の地域資源を活用しながら価値を高めるローカリズムの醸成と、地域力の向上へとつながる『まちなのにぎわいの創出』が必要であると考えます。

当委員会では、まちなのにぎわいを創出すべく、まちなにある独自の特色となりえる地域資源を探求し、その地域資源のポテンシャルを改めて感じて頂けるよう活用し、まちなの価値を高めて波及する為の運動を展開していきます。更には、誰もが楽しみながら参加できる事業内容と、まちなの核となる場所で開催する事により、にぎわいの効果が持続的に地域に根付くよう取組みます。また、更なるまちなのにぎわいの連鎖を見据え、オクトーバーフェストを活用し、地域資源からまちなへとより広いにぎわいの効果がつながるよう運動を展開します。公開例会においては、まちなにある独自の特色を活かした地域資源の魅力や可能性といった、まちなの力を感じて頂けるよう地域に伝播します。同時にローカリズムの時代の当事者である多くの人々へ、にぎわいの創出がもたらす本質的な価値をより具体的に示す場、すなわちローカリズムを育てる場として事業を構築し発信していきます。更には、「地域との深化」に基づく事業の検証結果と、委員会の「JAYCEEとしての真価」に裏付けられた活動を報告する事で「己の心火」を促し、地域が輝く礎となるコミュニティーの創造と、持続的なにぎわいの創出へと取組みます。

こんな時代だからこそ地域が輝く時代にしなければなりません。まちなのにぎわいを取戻す事こそ確かな地域コミュニティーの再興と、失われつつあるローカリズムの復活であると確信しております。まちなへの情熱や価値を最大限に高め「想いをかたちに」地域のポテンシャルを高め～美しき義の都上越の創造へ～邁進していきます。

委員会職務分掌<事業内容>

1. まちなのにぎわいを創出する事業を開催します。
2. オクトーバーフェスト in はすまつりを担当します。
3. 10月担当例会を開催します。
4. 戦略的な会員拡大運動（会拡）の実践